

# 今年度の町会活動方針

## 1. 町会を取り巻く社会情勢

地域の活動は、地域内のみの事象に対応すれば良しとした時代は終わったといえます。活性化を図るためには社会情勢を分析し、それに適応する活動に取り組むことが極めて重要であるといえます。

### (1) 少子高齢社会の到来

世界一の長寿国：地域コミュニティ機能の強化・高齢者の社会交流の促進・生きがい健康対策等が必要

### (2) 情報化時代の到来

情報収集・伝達の変化の対応策（インターネット等の活用）、文書類のペーパーレス化、活動のマニュアル化

### (3) 地域活動のマンネリ化からの脱却

住民意識の多様化により、縦割り方式から横の関係を強化・構築する必要性

### (4) 住民意識の多様化

全員参加型の活動へ：活動の多様化促進（ネットサークル・悠々サロン・自主防犯組等の活動活性化支援策・高齢者と年少者との交流促進）

### (5) 男女共同参画社会の形成

女性の各界トップへの就任促進誘導策：横の組織リーダーの連携活動強化

### (6) 団塊の世代の大量退職

地域社会貢献に期待：地域活動はボランティアの最前線であることの意識誘導策

## 2．活動方針

町会を取り巻く社会情勢等に鑑み、町会が行うべき課題としては、日常の住民間のコミュニケーションが最も重要であるとする原点に立ち返り、行事参加を強制的な指示と受け止めた義務感としてではなく、自発的な参加とする意識の転換を促進するため、近隣住民同士のコミュニケーションの機会を増やす工夫をし、その中から地域活動は「楽しいもの」として積極的参画を促し、引いては環境美化や防犯、防災活動の理解の深度化につながることを提起します。

### (1) コミュニティの強化

執行体制の見直しにより活動の円滑化・活性化を図る

役員の責任感醸成の一環として副会長担当業務を「部」と称し、副会長を部長にあてる。

班長業務のうち集金業務を合理化したうえで、各「部」のいずれかに所属し、委員長又は委員にあて、参画意識の向上を図る

町会だよりの記事の充実と発行回数増

町会ホームページの開設により町会活動の情報を公開

### (2) 町会の横組織の創設、既存の組織との連携強化

子供会との交流行事の実施：例えば、お手玉、独楽回し、たこ揚げ、餅つき大会、3世代グラウンドゴルフ大会等

高齢者参加行事の実施：悠々サロンと子供とのふれあい策

青年部：女性を加えたあらたな行事を推奨

福寿会：現役時代のノウハウを生かせる活動で地域貢献を期待  
(花壇の整備・家庭菜園の講習等)

ネットサークル：月1回の定例会継続、初心者パソコン講習会の実施、会員増加を図り高齢者支援策の充実

悠々サロン：高齢者の社会交流促進、並びにボランティアスタッフ交流促進を推奨するため、補助金を交付

同好会サークルの結成：ガーディング、写真、つり、墨絵等のク

ラブなどの 創設を誘導

自主防災組織の見直し：非常時の速やかな対応が可能な組織づくり

自主防犯組織の強化：ちさか地域防犯パトロール隊、ちゃりんこ・わんわんパトロール隊の連携とボランティア募集による組織強化

(3) 集会所改築プロジェクトの立ち上げ

検討委員会を創設し計画案の早期作成

(4) 地域活動のリーダー的人材の育成

各横の組織のリーダーと町会行事の協力体制を築く

団塊世代の会社人間から社会人間への転換意識改革を図る

以上の施策を積極的に展開し、地域のコミュニティ強化のため「住みよい街づくり」を皆さんと共に取り組みましょう。